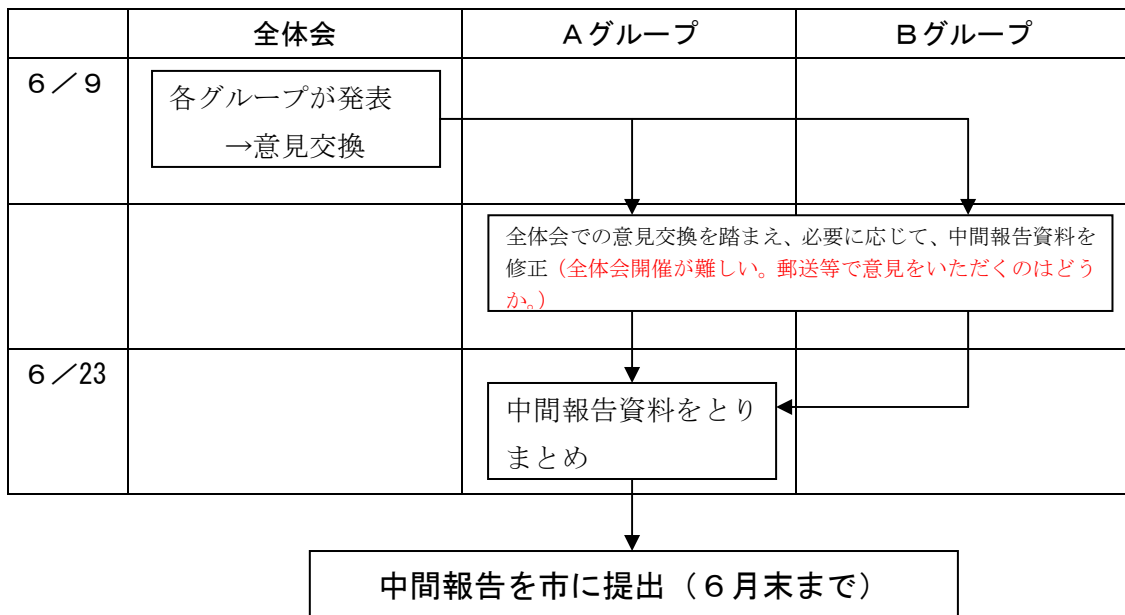


# 中間報告のとりまとめに向けて

## 1. 中間報告のとりまとめの構成（イメージ）

	概要	作成方法（案）
表紙・目次		
1. 活動概要	懇談会の設置目的、部会の説明、活動経過	懇談会資料より事務局で案を作成
2. 報告概要	全体会での各グループの報告内容	議事概要より事務局で案を作成
3. 各グループ 発表資料	Aグループ B-1 B-2（ひかりチーム） B-3	各グループの報告資料 （全体会の後に必要に応じて修正を加えたもの）
6月9日は報告資料 の素材だし		
4. 学識委員 コメント	全体会での学識委員のコメント（講評）内容	議事概要より事務局で案を作成

## 2. 中間報告のとりまとめの流れ（イメージ）



※6月23日のAチームの打ち合わせでは、①中間報告資料のとりまとめ、②8月末までの懇談会の活動企画、について意見交換を行います。

「元気で新しい八尾のまちづくりを考える市民懇談会」の提言書（中間報告）に向けて  
～市民懇談会での議論から～

## 1. 市民懇談会について

【市民懇談会】（設置要綱、第4回市民懇談会－資料3より）

- 八尾市に住みつづけたい、住んでみたいと誰もが思えるまちづくりを推進するにあたり、市民参画と協働のまちづくりの観点から、広く市民の意見や提言を反映させるため、「元気で新しい八尾のまちづくりを考える市民懇談会」が設置された。（平成20年（2008年）10月1日）

【これまでの定例会・各グループの検討会】

- 定例会6回、検討会（Aグループ2回・B－1グループ3回・B－2グループ3回・B－3グループ2回）開催され、グループの役割に基づき検討を行った。

【市民懇談会の活動テーマ】（第4回市民懇談会－資料3より）

- 1stステップ**（10月～2月）4次総計の進捗状況についてのコメント（※2月にとりまとめ完了）
- 2ndステップ**（3月～8月）「まちづくりの方向性」についての提言書の作成（※8月に提言書提出）
- この報告は、その中間報告である。

## 2. 市民懇談会の検討会の役割

【グループの役割】（第5回市民懇談会－資料1－2、資料2より）

- Aグループの役割は、大きな視点からのまちづくりの方向性や、市民参加、地域経営、行財政改革などについて話しあうグループ（第5回－資料2より）
- 「こういうまちにしたい」というビジョンや夢、大きな方向性を語る事が大事。  
⇒まちづくりの方向性を受けて、市民の役割や行政の役割などを考えていく。  
⇒具体的な施策まで考えなくてもよい。
- 地方分権時代を見据えて、大胆な内容を打ち出していきたい。
- 収入を考えていく必要がある。（例）市内にお金落ちるような観光
- 八尾市独自の計画を考えたい。内容を絞り込んだ特色のある総合計画を考えたい。

【検討の進め方】（第5回市民懇談会－資料1－2より）

- 行政改革や財政についての勉強会を開催したい。（委員全体で）
- 分野別での行政計画についても把握する必要がある。
- 産業振興会議など、平行して議論がされている場で、どのようなことが話し合われているのかを知りたい。
- 話し合ったことを基に提言をまとめていく。

【体制】（第5回市民懇談会－資料1－2より）

- Bグループ（検討グループ）の代表者は、Aグループに参加する必要がある。

【参照】Bグループの役割（第5回市民懇談会－資料2より）

- （B－1）人権・教育・子ども・福祉・医療などについて話し合う
- （B－2：ひかりチーム）文化・観光・産業・就労などについて話し合う
- （B－3）景観・環境・土地利用・都市基盤・交通・防犯・防災などについて話し合う

### 3. 各検討会（グループ）からの報告書について

各検討会（グループ）からの報告は別添報告書のとおりであり、ここでは、課題のいくつかの論点について整理をしておくこととする。

#### (1) Aグループからの報告書

--

#### (2) B－1グループからの報告書

--

#### (3) B－2（ひかりチーム）グループからの報告書

--

#### (4) B－3グループからの報告書

--

### 4. 検討会報告書に関する総括について

#### (1) 全体の総括部分について

#### (2) Aグループに関する学識委員（初谷委員）の意見（コメント）

#### (3) B－1グループに関する学識委員（斉藤・阿久澤委員）の意見（コメント）

#### (4) B－2グループに関する学識委員（太田委員）の意見（コメント）

#### (5) B－3グループに関する学識委員（初谷委員）の意見（コメント）

### 5. 提言書に向けて